

時折吹く強い風に、紅葉した色とりどりの葉が飛ばされる様子を見ると、冬の訪れを感じるようになりました。新見市中学校駅伝競走大会を目前にし、駅伝選手の人、体力向上コースの人、チーム哲多で心を合わせて走っています。教室では新型コロナウイルス対策として早くから加湿器を使用していますが、これからインフルエンザも流行する時期になるので、体調管理には今以上に心がけましょう。免疫力を上げ、体調を整えることがこれから一番大切になります。

## 読書は人生を豊かにする

11月11日(水)に図書集会がありました。図書委員が、本に興味を持ってもらおうと好きな本ランキング・図書クイズ・本の紹介・読み聞かせなど、様々な発表をしました。



Youtube やテレビからの情報は、他のことをしていても簡単に届いてきます。それに対して、読書というのは自ら本を手に取り、活字を目で追い、頭の中で情報を整理します。大変な作業ですし、時間もかかります。しかし、自分での作業が多い分、どんな世界でも想像して広げることができるのが、読書の良いところです。図書集会でたくさんの本と出逢ったと思います。一冊でも多くの本を手にとってみてください。きっと、人生が豊かになります。

## 面接練習が始まっています

10月から入試に向けて面接練習を行っています。面接は日ごろの言動が大きく影響します。授業前後のあいさつの時は指先まで意識して伸ばしていますか？新聞やテレビから、最近の時事問題に目を向けていますか？面接の過去問題を配付しているので、家でもおうちの方を相手に面接練習をしてください。日ごろから考えておくだけでも、面接の受け応えは変わってきます。

## 道徳～確かな人権感覚～

主人公は病気になったことにより、世の中にたくさんの偏見があふれていることに気づきました。しかし、入院した病院で出会った高校生から、命の重さやあきらめず頑張る強さを教えてもらいました。そんな「命の大切さ」という教材から差別や偏見のない世の中にするために必要なことは何か考えました。

～感想～

- ・自分と違うからといって、差別するのでは無く、受け入れたり認めたりすることが大切だと思いました。好奇心で人を見るのは絶対にダメだと思いました。
- ・僕も偏見をもってしまうので直さないとだめだと思った。自分と全く同じ人はいない、違う人がいるから楽しいと思う。
- ・幼いころから、色々な考えを持つ人、違う人種、外国人などと交流していれば、色々自分と違うことが当たり前になってくるから、インターネットなどが使いやすくなっている今、たくさんの人と出会う場を広げることができるといいなと思った。
- ・差別はしなくても偏見をもってしまうことがあります。僕も服装が乱れている人を見ると、目を背けてしまう経験があります。でも、すぐになくならないのが現実です。一人一人が日々の行動を少しずつ直せば、差別や偏見がいつか無くなると思います。

## エイズ出前講座で考えたこと

11月13日(金)にエイズ出前講座がありました。講師として助産師の西尾先生をお迎えし、エイズの話など性教育について話を聴きました。

～感想～

- ・性行為をする場合には、相手の同意を得たうえですることが大事だと分かりました。性病の感染は口からでも感染してしまうことを初めて知りました。お互いが安心、信頼、自由のある関係づくりを大切にしていきたいなと思いました。
- ・性に関するいろいろな病気を知ることができました。人としての権利をしっかり大切にし、守らないといけないなと思いました。お互いの境界線を守ることが安心できる関係のベースということもしっかりと学ぶことができました。
- ・嫌なことは正直に言っていいたいということが一番心に残っています。男女、お互いがよく話し合って自分も将来、気をつけたいなと思いました。何かあったら相談することも大切なことだということ分かりました。

